

製品名: ペリリピン A (16W12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15973**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	PLIN1
別名	Lipid droplet associated protein; PERI; Perilipin-1; PerilipinA; LIN1;
遺伝子 ID	5346.0
SwissProt ID	O60240
免疫原	ヒトペリリピン-1 の合成ペプチド

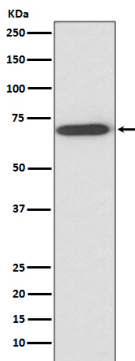
背景

脂肪細胞の脂質代謝調節因子。脂肪貯蔵滴を覆い、ホルモン感受性リパーゼ (HSL) による分解から保護する。この因子が欠乏すると、やせてしまう可能性がある。脂肪細胞の脂質代謝調節因子。脂肪貯蔵滴を覆い、ホルモン感受性リパーゼ (HSL) による分解から保護する。この因子が欠乏すると、やせてしまう可能性がある。CIDEc を活性化することで、単房性脂肪滴形成に関与する。これらの相互作用により、脂肪滴の肥大化と方向性のある正味中性脂質の移動が促進される。脂肪分解およびトリグリセリドレベルを調節する可能性がある。

研究分野

心血管系

画像データ



ヒト胎児肝臓溶解物中のペリリピン A 発現のウェスタンブロット分析。